

未来を創る



2017年12月期 第1四半期 決算説明資料

2017年8月23日

※比較参考資料（P 16～P 21）を追加しています。

Sodick
株式会社 ソディック

2017年12月期 第1四半期 連結対象期間について

- ✓ 2017年度より決算期を3月31日から12月31日に変更し、中国の子会社との3ヶ月間の期ズレを解消。2017年12月期は9か月間の変則決算となります。

①2017年12月期 第1四半期の連結対象期間（財務報告ベース）

- 3月決算会社：2017年4～6月
- 12月決算会社（中国の7社）：2017年1～6月

	1-3月	2017年3月期			2017年12月期			
		4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q	1-3月 4Q	4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q
3月決算会社		3ヶ月				3ヶ月		
12月決算会社	3ヶ月				6ヶ月			

②比較参考数値の連結対象期間（比較参考数値：調整後）

- 2016年：全社 2016年1～6月
- 2017年：全社 2017年1～6月

	1-3月	2017年3月期			2017年12月期			
		4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q	1-3月 4Q	4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q
3月決算会社								
12月決算会社								

※比較参考数値はP16～P21をご参照下さい。

I. 2017年12月期 1Q決算概要



業績ハイライト (財務報告ベース)

- ✓ 国内・北米は販売が伸び悩んだものの、中華圏およびアジアでの販売が好調に推移した結果、売上高は実質増収基調。
- ✓ 利益面では、決算期変更に伴う会計処理等の特殊要因もあり伸び悩んだものの、特殊要因を除けば概ね問題ない水準。
(決算期変更による影響額：△約4億円)

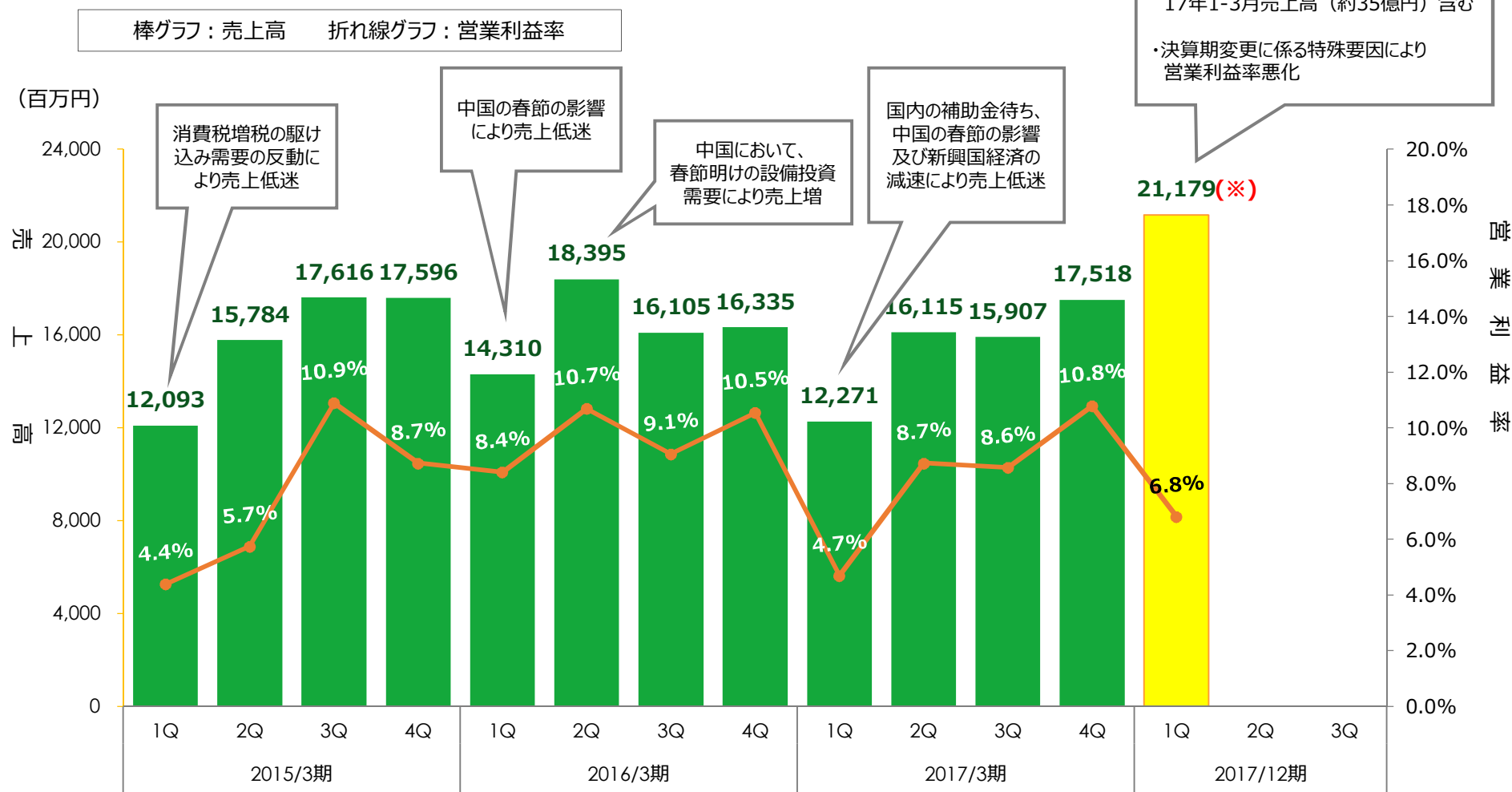
	2017年3月期 1Q		2017年12月期 1Q		2017年12月期 (4月～12月： 9か月変則) 通期予想	
	実績	利益率	実績	利益率		
売上高	12,271	-	21,179	-	55,800	
売上総利益	4,636	37.8%	7,249	34.2%	-	
営業利益	576	4.7%	1,442	6.8%	5,300	
経常利益	△85	△0.7%	1,639	7.7%	5,200	
純利益	71	0.6%	1,137	5.4%	3,700	
包括利益	△2,527		1,120			
期中平均 為替レート	ドル ユーロ 人民元 バーツ	108.04 円 121.88 円 17.61 円 3.06 円		111.09 円 122.26 円 16.39 円 3.24 円		105.00 円 116.00 円 15.80 円 3.16 円

〔 ※参考情報 2017年6月末 為替レート ドル：112.00円 ユーロ：127.97円 人民元：16.49円 バーツ：3.29円 〕
 〔 2017年3月期末 為替レート ドル：112.19円 ユーロ：119.79円 人民元：16.76円 バーツ：3.26円 〕

※決算期変更に伴い、2017年12月期第1四半期は3月決算会社は4～6月の3ヶ月間、12月決算会社は1月～6月の6ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同四半期比増減については記載しておりません。

売上高・営業利益率推移（四半期毎：財務報告ベース）

- ✓ 国内および北米は販売が伸び悩んだものの、中華圏およびアジアでの販売が好調に推移した結果、売上高は概ね計画通りに推移。
- ✓ 利益率は決算期変更に伴う特殊要因（約4億円）を除けば特段問題ない水準。



(※)決算期変更による変則決算のため、
3月決算会社の4-6月及び
12月決算会社の1-6月の数値を含みます。

セグメント別業績 (財務報告ベース)



(百万円)

		2017年3月期1Q	2017年12月期1Q
		実績	実績
売上高	● 工作機械事業	8,692	15,841
	● 産業機械事業	1,805	3,266
	● 食品機械事業	495	463
	● その他事業	1,277	1,606
		12,271	21,179
セグメント利益	● 工作機械事業	998	1,510
	● 産業機械事業	△ 37	313
	● 食品機械事業	△ 40	△ 101
	● その他事業	251	390
		1,171	2,112
調整額		△ 595	△ 669
営業利益 合計		576	1,442

工作機械事業

- ✓ 国内は補助金が3月に採択されたことにより、スマートフォン関連の電子部品やレンズ向けやコネクタ向けから受注が好調に推移するも、売上は低迷。
- ✓ 北米は堅調だった自動車、航空宇宙、医療機器関連の需要にやや減速感あり。
- ✓ 欧州は自動車、航空宇宙関連は堅調だが、ロシア、トルコ等で減速感あり。
- ✓ 中華圏は自動車・スマートフォン関連を中心に、高精度機種の高まりを受け、受注・販売ともに好調。
- ✓ アジアはタイ・インドネシアなどで回復基調。

産業機械事業

- ✓ 国内は、自動車関連を中心にコネクタ向けの需要が好調。スマートフォン関連では、レンズなど高付加価値部品向けの需要は堅調。
- ✓ 中華圏・アジアにおいても、スマートフォン、自動車関連からの受注・販売ともに好調。

食品機械事業

- ✓ 調理麺の品質向上のための設備投資需要あり。
- ✓ 製菓、包装米飯など製麺業界以外からの機械需要あり。
- ✓ 複数案件の検収が第2四半期以降にズレたため、売上低迷。
- ✓ 新製品立ち上げコストの一時的な発生により、セグメント利益が減少。

その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの販売が順調。

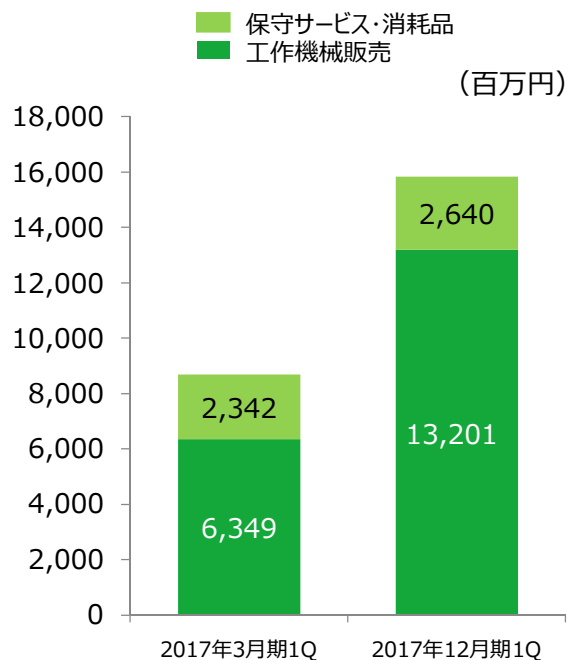
※決算期変更に伴い、2017年12月期第1四半期は3月決算会社は4～6月の3ヶ月間、12月決算会社は1月～6月の6ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同四半期比増減については記載しておりません。

セグメント別 売上高内訳 (財務報告ベース)



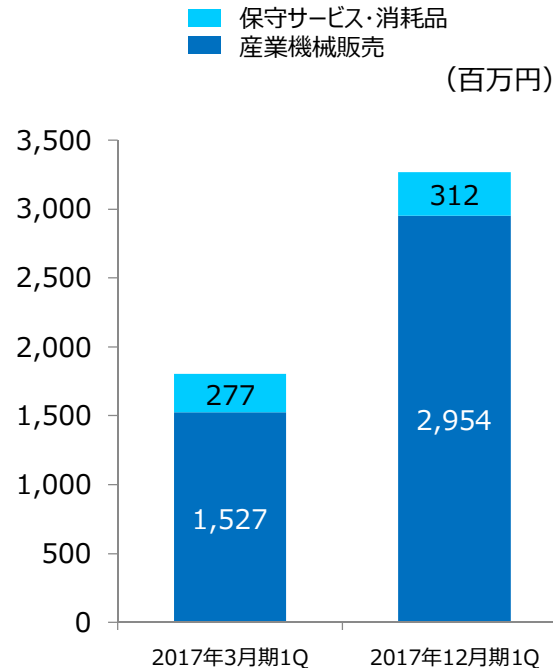
✓ 安定キャッシュを生み出す保守サービス・消耗品の売上高は15%程度を占める。

工作機械事業



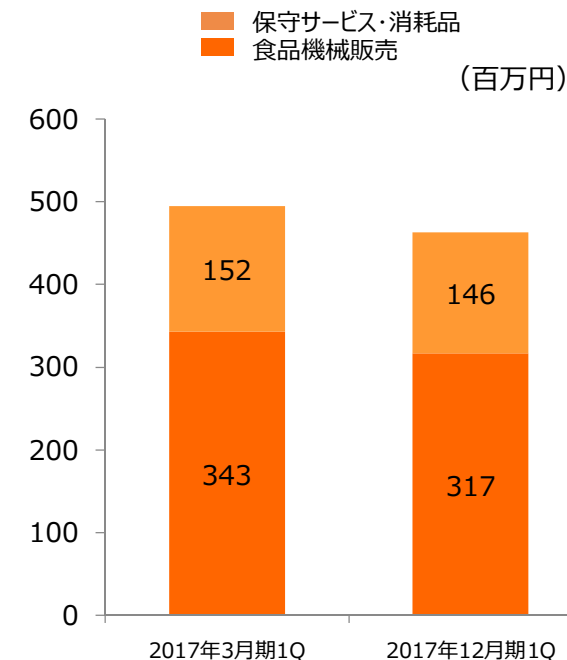
工作機械事業	2017年3月期1Q	2017年12月期1Q
工作機械販売	6,349	13,201
保守サービス・消耗品	2,342	2,640
合計	8,692	15,841

産業機械事業



産業機械事業	2017年3月期1Q	2017年12月期1Q
射出成形機販売	1,527	2,954
保守サービス・消耗品	277	312
合計	1,805	3,266

食品機械事業



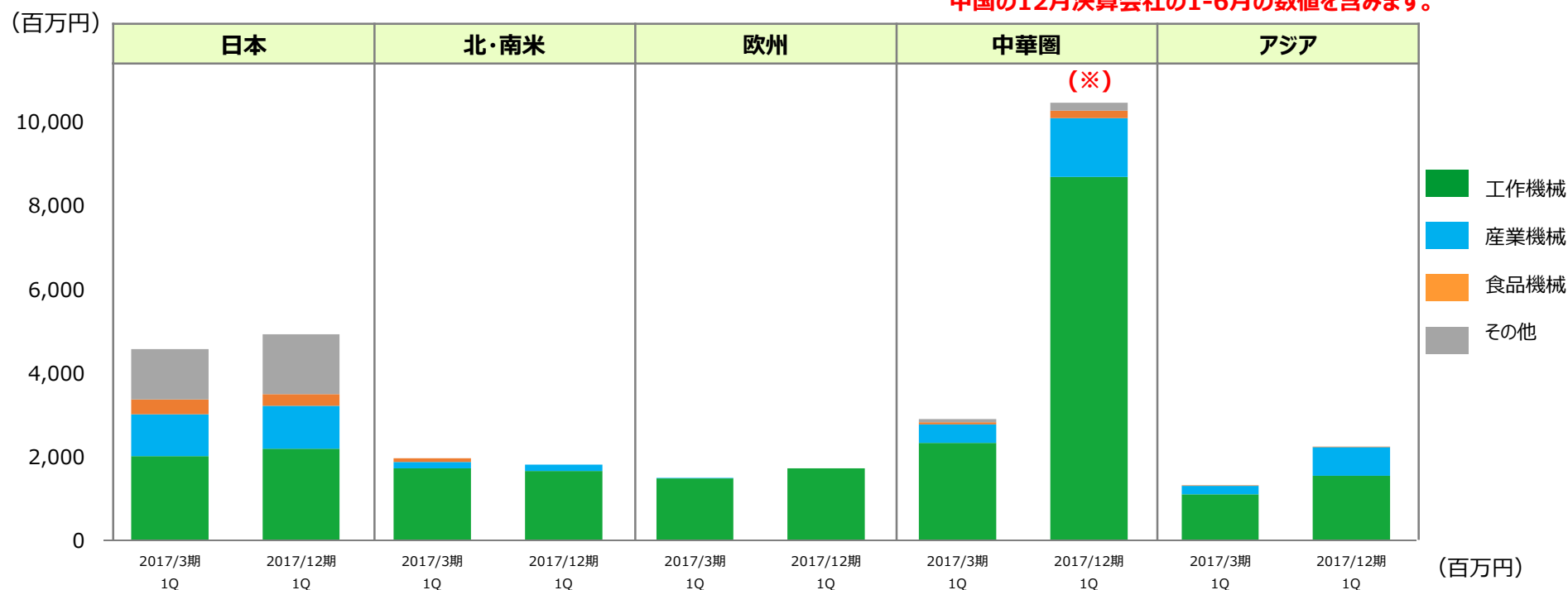
食品機械事業	2017年3月期1Q	2017年12月期1Q
食品機械販売	343	317
保守サービス・消耗品	152	146
合計	495	463

※決算期変更に伴い、2017年12月期第1四半期は3月決算会社は4～6月の3ヶ月間、12月決算会社は1月～6月の6ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。

事業別海外売上高比率 (財務報告ベース)



※決算期変更による変則決算のため、
中国の12月決算会社の1-6月の数値を含みます。



2017年3月期1Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	2,024	23.3%	1,733	19.9%	1,484	17.1%	2,343	27.0%	1,105	12.7%	8,692	70.9%
産業機械	1,000	55.5%	156	8.6%	1	0.1%	438	24.3%	208	11.5%	1,805	14.7%
食品機械	354	71.6%	82	16.7%	—	—	54	11.0%	3	0.7%	495	4.0%
その他	1,198	93.9%	—	—	—	—	78	6.1%	—	—	1,277	10.4%
地域別 計	4,578	37.3%	1,972	16.1%	1,486	12.1%	2,915	23.8%	1,317	10.7%	12,271	100.0%

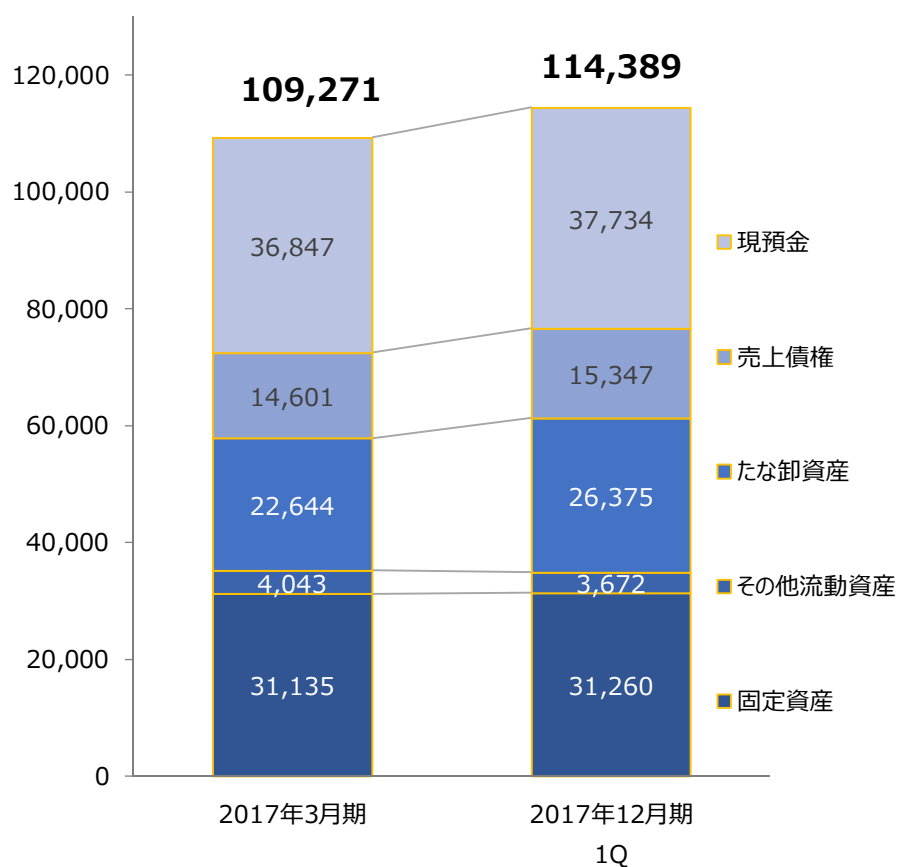
2017年12月期1Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	2,200	13.9%	1,673	10.6%	1,727	10.9%	8,691	54.8%	1,548	9.8%	15,841	74.8%
産業機械	1,030	31.5%	141	4.4%	0	0.0%	1,402	42.9%	692	21.2%	3,266	15.4%
食品機械	272	58.8%	0	0.1%	—	—	187	40.5%	3	0.6%	463	2.2%
その他	1,426	88.8%	—	—	—	—	180	11.2%	—	—	1,606	7.6%
地域別 計	4,929	23.3%	1,815	8.6%	1,728	8.2%	10,461	49.4%	2,244	10.6%	21,179	100.0%

貸借対照表

- ✓ 受注増加に伴い、たな卸資産が大幅に増加。流動比率は200%以上を維持。
- ✓ ネット有利子負債は24億51百万円（前期末比16億55百万円減少）。

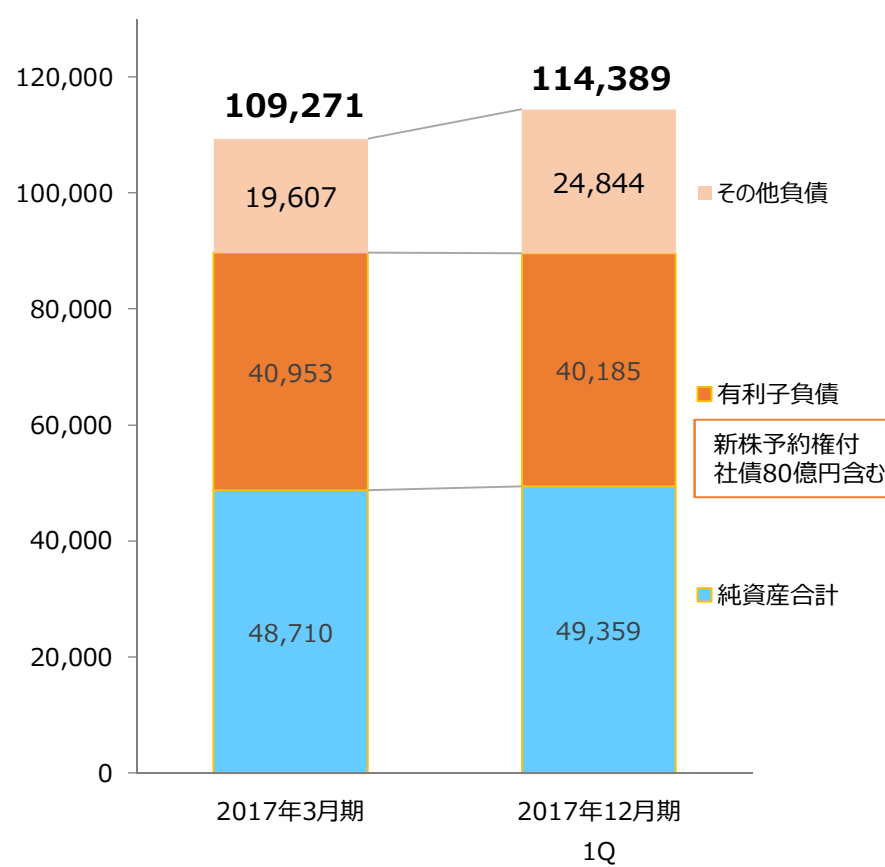
資産

(百万円)



負債・純資産

(百万円)



※参考情報 2017年6月末 為替レート ドル：112.00円 ユーロ：127.97円 人民元：16.49円 バーツ：3.29円
 2017年3月期末 為替レート ドル：112.19円 ユーロ：119.79円 人民元：16.76円 バーツ：3.26円

1 加賀事業所 設備投資計画の一部変更について

◆変更の概要

2014年11月にリリースした加賀事業所の設備投資計画にて2017年10月に操業開始予定としていた工作機械生産工場の建設について、昨今の事業環境や市場の変化に柔軟に対応する生産体制を構築するため、放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ、射出成形機など、多種多様な製品の生産が可能なマルチファクトリーの建設に設備投資計画の一部変更を行いました。マルチファクトリーは、IoTを利用した生産方式の採用により、生産効率向上や納期短縮を目指してまいります。

また、福井県坂井市にある物流センターを加賀事業所内に移転することにより、梱包・輸送効率を高め、コスト削減を進めてまいります。

	2014年11月リリース	2017年6月リリース
建設場所	石川県加賀市宮町カ1-1 加賀事業所敷地内	石川県加賀市宮町カ1 - 1 加賀事業所敷地内
延べ床面積	約19,000㎡ (予定)	約19,000㎡ (予定) (内訳) ・食品機械工場 5,676㎡ (2016年6月竣工済) ・マルチファクトリー 10,000㎡ (予定) ・物流センター 3,324㎡ (予定)
設備投資額	約28億円 (予定)	約43.5億円 (予定) ※既支払済含む (内訳) ・食品機械工場 約8億円 (2016年6月竣工済) ・用地取得・造成他 約6億円 (用地取得完了済) ・マルチファクトリー 約25億円 (予定) ・物流センター 約4.5億円 (予定)
従業員数	操業開始時：30名増員 (予定) 将来的に最大100名増員 (予定)	—
着工	2015年5月 (予定)	—
操業開始	食品機械生産工場：2016年4月 (予定) 工作機械生産工場：2017年10月 (予定)	物流センター：平成30年3月 (予定) マルチファクトリー：平成30年10月 (予定)

※詳細は2017年6月23日リリースの「加賀事業所 設備投資計画の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

2 FOOMA JAPAN 2017（国際食品工業展） 出展

東京ビックサイトにて開催された国際的な食品機械の展示会「FOOMA JAPAN」に出展いたしました。国内外において「食の安全・安心」に関心が高まる中、当社が手掛ける製麺機をはじめとした最先端食品機械製品群の展示の他、当社製麺機で製造したうどんの試食ブースも併設し、コシの強い高品質の麺をご試食いただきました。

製麺工程1ラインをトータルでサポートできる点をアピールするなど、当社ブースは活況を呈しました。



【FOOMA JAPAN 2017 概要】

開催場所：東京ビックサイト

開催期間：2017/6/13-16（4日間）

出展機種：真空エクストルーダー、圧延切出機、綾織機、トレーフィーダー等

来場者数：約10万人



◀真空エクストルーダー

3 MTA VIETNAM 2017 出展

ベトナム・ホーチミンにて開催された、同国最大級の機械総合展示会、「MTA VIETNAM 2017」に、放電加工機・細穴放電加工機や射出成形機などを出展いたしました。

【MTA VIETNAM 2017 概要】

開催場所：ベトナム ホーチミン

開催期間：2017/7/4-7（4日間）

出展機種：ワイヤ放電加工機 ALN600G、形彫り放電加工機 AG40L、細穴加工機 K1C、V-LINE射出成形機 GL60A、各種消耗品等



▲ALN600G



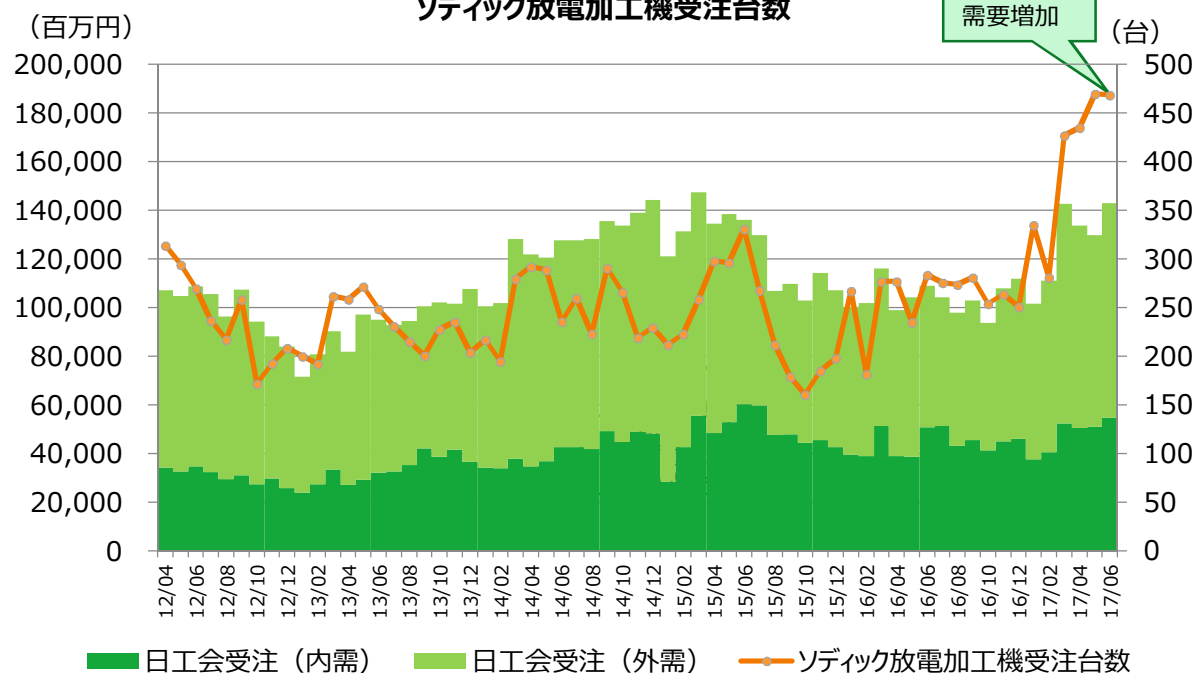
◀GL60A

Ⅱ. 2017年12月期 業績予想

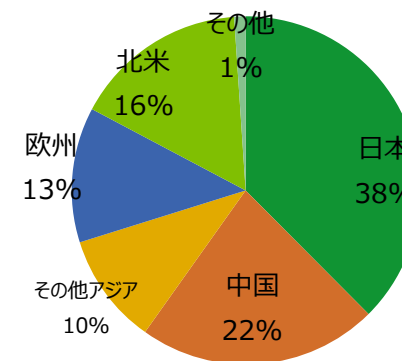


- ✓ 国内：政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要により、堅調な需要が継続する見通し。
- ✓ 北米：自動車関連は一服感が見られるものの、航空宇宙、医療機器関連の設備投資需要は底堅く推移する見通し。
米国新政権の経済政策の影響など不確定要素も多く、先行きに不透明感がある。
- ✓ 欧州：自動車、航空宇宙関連の需要は堅調に推移する見通しはあるものの、ロシアやトルコなどの地域では減速感が見られる他、イギリスのEU離脱問題や欧州各地での国政選挙などの地政学リスクもあり先行きに不透明感あり。
- ✓ 中国：政府主導のインフラ投資や不動産販売の増加等を背景に経済成長率は拡大基調。
人件費の高騰等を背景に自動化への対応、より高精度な機械の需要の増加が期待できる。
- ✓ アジア：タイ、インドネシアなどでは自動車関連を中心に回復基調。

日本工作機械工業会 工作機械受注金額・
ソディック放電加工機受注台数



日本工作機械工業会
工作機械 地域別受注構成比
(2017年1月-6月累計)



出典：日本工作機械工業会

出典：日本工作機械工業会

2017年12月期 通期業績予想 ※財務報告ベース



- ✓ 営業利益は計画に対し進捗率が低いものの、受注は計画を大幅に上回る水準で推移しており、第2四半期以降にかけて収益力は改善していく見込み。

(百万円)

	2017年12月期 1Q		2017年12月期 (2017年4月～12月：9か月変則)		通期計画 進捗率	2017年3月期 実績
	実績	利益率	予想	利益率		
売上高	21,179	-	55,800	-	38.0%	61,812
営業利益	1,442	6.8%	5,300	9.5%	27.2%	5,236
経常利益	1,639	7.7%	5,200	9.3%	31.5%	4,620
当期純利益	1,137	5.4%	3,700	6.6%	30.8%	3,644
包括利益	1,120					2,728
ROE						7.4%

期中平均 為替レート	ドル	111.09 円		105.00 円		108.34 円
	ユーロ	122.26 円		116.00 円		118.74 円
	人民元	16.39 円		15.80 円		16.32 円
	バーツ	3.24 円		3.16 円		3.08 円

セグメント別 通期業績予想

※財務報告ベース



(百万円)

		2017年12月期 1Q	2017年12月期 (2017年4~12月: 9か月変則)	通期計画 進捗率	2017年3月期
		実績	通期 予想		実績
売上高	● 工作機械事業	15,841	38,400	41.3%	43,355
	● 産業機械事業	3,266	9,060	36.1%	9,366
	● 食品機械事業	463	3,800	12.2%	3,429
	● その他事業	1,606	4,540	35.4%	5,661
		21,179	55,800	38.0%	61,812
セグメント 利益	● 工作機械事業	1,510	5,380	28.1%	6,213
	● 産業機械事業	313	850	36.8%	617
	● 食品機械事業	△ 101	370	-	159
	● その他事業	390	600	65.1%	859
		2,112	7,200	29.3%	7,851
調整額		△ 669	△ 1,900	-	△ 2,614
営業利益 合計		1,442	5,300	27.2%	5,236

工作機械事業

- ✓ 国内は補助金の影響もあり堅調に推移する見通し。
- ✓ 北米は減速感が見られるものの、欧州は設備投資需要は堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏は、自動車、スマートフォン関連向けの高精度機の需要が引き続き好調に推移する見通し。
- ✓ 東南アジアは厳しい状況が続いているものの、タイ・インドネシアなどの自動車関連を中心に回復する見通し。

産業機械事業

- ✓ 国内市場は自動車を中心に堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏およびアジア地域ではスマートフォン、コネクタ関連向けの高精度な機械需要が増加しており、高い受注水準が継続する見通し。

食品機械事業

- ✓ 高品質な麺需要が引続き見込まれるほか、製菓、包装米飯・包装惣菜など製麺業界以外からの引き合いが増加する見通し。

その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの外販も引き続き堅調に推移する見通し。

Ⅲ. 比較参考数値

※監査法人による監査を受けていない参考数値です。

※比較参考数値は、決算期を3ヵ月ずらして連結していた中国の連結子会社の期ズレを解消し、全会社の連結対象期間を統一し調整した数値です。

業績ハイライト ※比較参考数値（調整後）

- ✓ 国内・北米は販売が伸び悩んだものの、中華圏およびアジアでの販売が好調に推移した結果、増収増益を達成。
- ✓ 営業利益は研究開発費等の販管費増加などにより利益率が低下。
- ✓ 経常利益は為替差損が約9億円減少したこと等により大幅に増加。

(百万円)

	2016年1～6月		2017年1～6月		増減		2017年 1月～12月 通期予想
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	
売上高	30,368	-	34,317	-	3,949	13.0%	67,900
売上総利益	11,160	36.7%	12,283	35.8%	1,123	10.1%	-
営業利益	2,789	9.2%	2,931	8.5%	142	5.1%	6,900
経常利益	1,627	5.4%	2,946	8.6%	1,319	81.1%	6,600
純利益	1,550	5.1%	1,912	5.6%	362	23.4%	4,800
期中平均 為替レート	ドル	111.70 円		112.34 円			105.00 円
	ユーロ	124.52 円		121.66 円			116.00 円
	人民元	17.05 円		16.39 円			15.80 円
	バーツ	3.15 円		3.24 円			3.16 円

※監査法人による監査を受けていない参考数値

セグメント別業績 ※比較参考数値（調整後）

(百万円)

	2016年 1~6月 実績	2017年 1~6月 実績	増減		
			(額)	(率)	
売上高	● 工作機械事業	21,527	24,113	2,585	12.0%
	● 産業機械事業	4,130	5,993	1,863	45.1%
	● 食品機械事業	2,063	1,432	△632	△30.6%
	● その他事業	2,647	2,780	133	5.0%
		30,368	34,317	3,949	13.0%
セグメント 利益	● 工作機械事業	3,158	3,151	△7	△0.2%
	● 産業機械事業	180	796	615	341.2%
	● 食品機械事業	169	△160	△329	△194.5%
	● その他事業	440	467	27	6.1%
		3,948	4,254	306	7.8%
調整額	△1,159	△1,322	△163	-	
営業利益 合計	2,789	2,931	143	5.1%	

工作機械事業

- ✓ 国内は補助金が3月に採択されたことにより、スマートフォン関連の電子部品やレンズ向けやコネクタ向けから受注が好調に推移するも、売上は低迷。
- ✓ 北米は堅調だった自動車、航空宇宙、医療機器関連の需要にやや減速感あり。
- ✓ 欧州は自動車、航空宇宙関連は堅調だが、ロシア、トルコ等で減速感あり。
- ✓ 中華圏は自動車・スマートフォン関連を中心に、高精度機種需要の高まりを受け、受注・販売ともに好調。
- ✓ アジアはタイ・インドネシアなどで回復基調。

産業機械事業

- ✓ 国内は、自動車関連を中心にコネクタ向けの需要が好調。スマートフォン関連では、レンズなど高付加価値部品向けの需要は堅調。
- ✓ 中華圏・アジアにおいても、スマートフォン、自動車関連からの受注・販売ともに好調。

食品機械事業

- ✓ 調理麺の品質向上のための設備投資需要あり。
- ✓ 製菓、包装米飯など製麺業界以外からの機械需要あり。
- ✓ 複数案件の検収が第2四半期以降にズレたため、売上低迷。
- ✓ 新製品立ち上げコストの一時的な発生により、セグメント利益が減少。

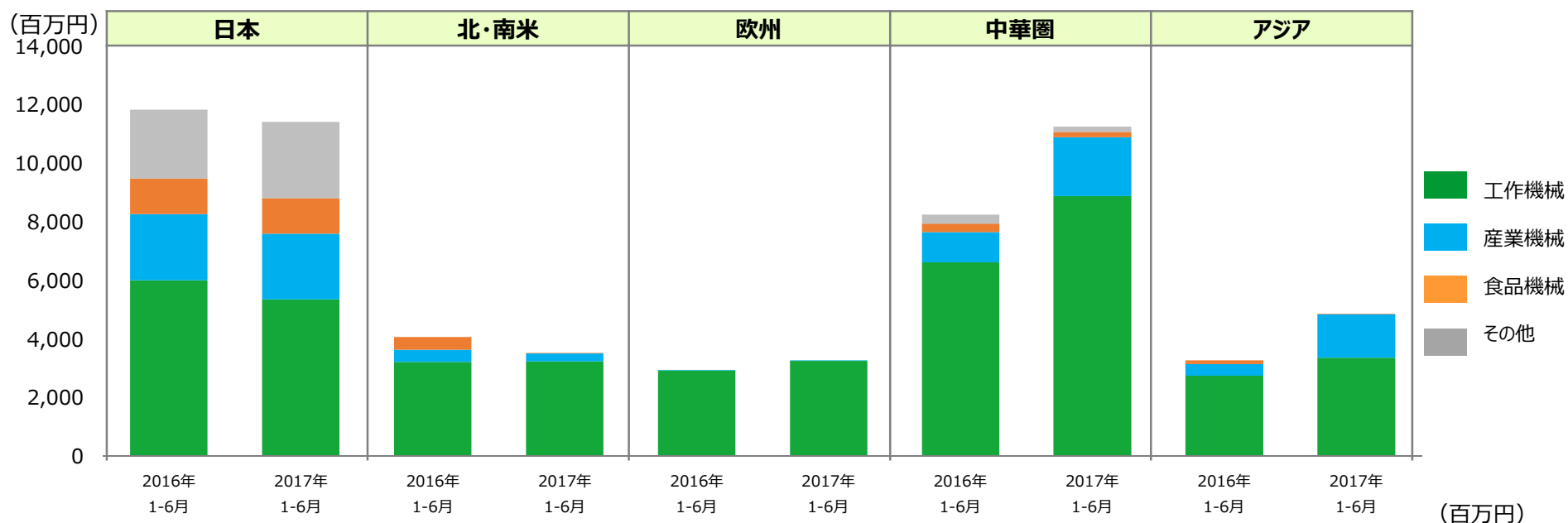
その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの販売が順調。

※監査法人による監査を受けていない参考数値

事業別海外売上高比率 ※比較参考数値（調整後）

✓ グローバルに事業を展開、海外売上高比率は66.8%。



2016年1～6月	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	6,007	27.9%	3,215	14.9%	2,924	13.6%	6,629	30.8%	2,750	12.8%	21,527	70.9%
産業機械	2,260	54.7%	419	10.1%	25	0.6%	1,030	24.9%	393	9.5%	4,130	13.6%
食品機械	1,218	59.0%	429	20.8%	-	-	286	13.9%	128	6.2%	2,063	6.8%
その他	2,351	88.9%	-	-	-	-	295	11.1%	-	-	2,646	8.7%
地域別計	11,838	39.0%	4,064	13.4%	2,949	9.7%	8,242	27.1%	3,272	10.8%	30,367	100.0%

2017年1～6月	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	5,357	22.2%	3,245	13.5%	3,259	13.5%	8,892	36.9%	3,357	13.9%	24,112	70.2%
産業機械	2,234	37.3%	263	4.4%	0	0.0%	1,997	33.3%	1,497	25.0%	5,993	17.5%
食品機械	1,218	85.2%	19	1.3%	-	-	188	13.2%	5	0.3%	1,431	4.2%
その他	2,599	93.5%	-	-	-	-	181	6.5%	-	-	2,780	8.1%
地域別計	11,409	33.2%	3,528	10.3%	3,259	9.5%	11,259	32.8%	4,861	14.2%	34,317	100.0%

※監査法人による監査を受けていない参考数値

2017年12月期 通期業績予想

※比較参考数値（調整後）



- ✓ 売上高は概ね計画通り。利益については計画に対し進捗率が低いものの、受注は計画を大幅に上回る水準で推移しており、第2四半期以降にかけて収益力は改善していく見込み。

(百万円)

	2017年1～6月		2017年12月期 通期 (2017年1月～12月)		通期計画 進捗率	2017年3月期
	実績	利益率	予想	利益率		実績
売上高	34,317	-	67,900	-	50.5%	61,812
営業利益	2,931	8.5%	6,900	10.2%	42.5%	5,236
経常利益	2,946	8.6%	6,600	9.7%	44.6%	4,620
当期純利益	1,912	5.6%	4,800	7.1%	39.8%	3,644
包括利益						2,728
ROE						7.4%

期中平均 為替レート	ドル	112.34 円		105.00 円		108.34 円
	ユーロ	121.66 円		116.00 円		118.74 円
	人民元	16.39 円		15.80 円		16.32 円
	バーツ	3.24 円		3.16 円		3.08 円

※監査法人による監査を受けていない参考数値

セグメント別 通期業績予想

※比較参考数値（調整後）



(百万円)

		2017年1～6月	2017年12月期 (2017年1～12月)	通期計画 進捗率	2017年3月期
		実績	通期 予想		実績
売上高	● 工作機械事業	24,113	46,000	52.4%	43,355
	● 産業機械事業	5,993	11,300	53.0%	9,366
	● 食品機械事業	1,432	4,700	30.5%	3,429
	● その他事業	2,780	5,900	47.1%	5,661
		34,317	67,900	50.5%	61,812
セグメント 利益	● 工作機械事業	3,151	6,870	45.9%	6,213
	● 産業機械事業	796	1,400	56.8%	617
	● 食品機械事業	△160	460	△34.8%	159
	● その他事業	467	730	63.9%	859
		4,254	9,460	45.0%	7,851
調整額		△1,322	△ 2,560		△ 2,614
営業利益 合計		2,931	6,900	42.5%	5,236

※監査法人による監査を受けていない参考数値

(参考資料)



国内外の拠点



本社

生産拠点

開発拠点

販売・サービス拠点

主な展示会への出展情報

✓ 国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	開催地		展示会	概要
5/16~19	中国	広州	CHINAPLAS 2017 (第31回 国際プラスチック・ゴム産業展)	
6/13~16	日本	東京	FOOMA JAPAN 2017 (国際食品工業展)	
6/13~16	中国	上海	DMC (Die & Mold China) 2017	
6/21~24	タイ	バンコク	Intermold Thai	
7/4~7	ベトナム	ホーチミン	MTA Vietnam(International Precision Engineering, Machine Tools and Metalworking Exhibition & Conference)	
7/12~15	インドネシア	スラバヤ	MachineTools&manufacturingIndonesia-Surabaya	
8/23~26	フィリピン	マニラ	PhilippineDie&MoldMachineTools	
9/12~14	米国	LA	Westec2017	工作機械・金属加工技術展示会
9/18~23	ドイツ	ハノーバー	EMO2017	世界最大級の工作機械展示会
10/11~13	ベトナム	ハノイ	MTA Vietnam	
10/12~14	ベトナム	ホーチミン	METALEX VIETNAM (ベトナム国際工作機械・加工展)	
10/18~21	日本	名古屋	M E C T 2017 (メカトロテックジャパン2017)	2017年 国内最大級の工作機械見本市
10/24~28	日本	幕張	I P F 2017 (国際プラスチックフェア)	
11/22~25	タイ	バンコク	MetalexThai (タイ国際工作機械・加工展)	
11/28~12/1	中国	東莞	東莞DMP2017 (東莞国際金型・金属加工展覧会)	
12/6~9	インドネシア	ジャカルタ	Machine Tools Indonesia	

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック 経営管理部

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835